第1号様式
所属進行表

業務運営進行表

（平成27年４月１日～平成28年3月31日）

	局名	部名	室・課（出先は所属）名	所属のホームページ
所属	教育局	－	菅高等学校	http://www.suge-h.pen-kanagawa.ed.jp/

Ⅰ　業務概要

教育目標　○主体的に学ぶ姿勢を養って基礎学力の充実を図り、課題解決能力・表現力を育む。
○規範意識と人権意識を涵養して、自他を共に尊重する姿勢と豊かな社会性を育む。
○将来を構想して実現しようとする姿勢と能力を養い、一人ひとりの進路実現を支援する。
○諸活動を通じた自己実現を支援し、自己有用感・達成感を伸長して豊かな人間性を育む。
○家庭・地域と連携して、地域とともに育ち、地域に貢献できる学校づくりを推進する。
○事故のない安全・安心な教育体制を整備して、信頼される学校づくりを推進する。

Ⅱ　収支の状況

（単位：千円）

			第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	出納整理期間	累計
収入	収入科目	年間計画額	収入済額					
	使用料及び手数料	47,427	76	6,819	44,001	37,472		88,368
	財産収入	4,438	4,489					4,489
	その他	135	32	30	26	27		116
	収入計(A)	52,001	4,597	6,849	44,027	37,499	0	92,973
支出	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業経費 事業費	98,318	1,743	5,343	50,686	40,250	297	98,318
	事業経費 維持管理費	29,006	5,099	6,716	6,751	8,496	1,945	29,006
	事業経費 計	127,324	6,841	12,059	57,437	48,745	2,241	127,324
	人件費　（注１）		181,024	124,657	190,273	131,635		627,589
	支出計(B)		187,865	136,716	247,710	180,380	2,241	754,913
差額(A)-(B)　（注２）			△ 183,268	△ 129,867	△ 203,683	△ 142,881	△ 2,241	△ 661,940

（注１）人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額（事業主負担分）及び退職手当相当額が含まれています。
（注２）差額の△(マイナス)には、県税や県債、国庫支出金等を充当しています。
（注３）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

Ⅲ　職員配置状況

	区分	４月１日	７月１日	10月１日	１月１日
配置職員数	常勤職員	65	65	66	66
	上記以外の職員	36	34	35	35
	計（人）	101	99	101	101

Ⅳ　業務実施状況

１　生徒数の状況（平成27年４月１日現在）

		１年	２年	３年	合計
学級数		9	10	9	28
生徒数	男	196	201	181	578
	女	161	193	167	521

2　年間行事予定

4月入学式	6月体育祭	8月中学生対象体験授業、防災訓練
9月芸術鑑賞会	10月文化祭、学校説明会①②	11月マラソン大会、研修旅行、学校説明会③
12月球技大会	3月卒業式、球技大会、防災訓練	

3　進路の状況

		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年		
卒業者数		264	311	304	311		
進学	4年制大学	96	110	103	137		
	短期大学	14	19	20	22		
	専門学校・各種学校等	92	97	126	109		
就職		28	35	24	18		
その他・進学準備等		34	50	31	25		

Ⅴ　業務運営に関する評価

1　平成２７年度の学校目標

○生徒一人ひとりが「確かな学力」を身に付けるため、個に応じた学習の機会を提供する。
○基本的な生活習慣の確立を図り、いじめを許さない取組みをすすめるとともに、生徒の自己指導能力を育成する。
○生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習へ取組む態度を育成するために、組織的な授業改善を推進する。
○生徒の社会的自立を目指して、健全な勤労観・職業観の育成に努めるとともに、キャリア教育の推進に取り組む。
○部活動、生徒会行事を活性化させ、生徒の社会性、自主性を育む。
○地域・家庭との連携を深め信頼される学校づくりを推進する。
○生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を整備する。

2　平成２７年度の学校目標の評価

○生徒が到達すべき学力の水準を各教科で明示することができ、到達しているかを測るための共通テストも各教科で推進できた。
○基本的な生活習慣の確立を図るには、全教職員が同じ基準で指導する必要があるが、教職員間で情報を共有し生徒の指導、支援に当たることができた。また、「いじめアンケート」を発展させた「生徒支援アンケート」を実施することで、より生徒の状況を適切に把握することができた。
○授業研究会を実施し、全教職員で情報共有し、授業改善に役立てた。また、自習室の整備や「特進プログラム」「学び直し」の推進など生徒の学習状況に応じた学習プログラムを作成できた。
○外部関係機関と提携しながら「総合的な学習の時間」など様々な場面でキャリア教育を推進できた。
○部活動の定着率は向上し、海外の試合に参加する生徒や高文連で表彰される生徒が複数出るなど生徒の活動は活発化している。
○地域行事に部活動の生徒を中心に参加し、本校生徒の充実した学校生活の姿を地域に示すことができた。
○ＤＩＧ（災害図上訓練）の職員研修会を通して、本校の防災についての課題を把握することができた。

連絡先（電話番号）	０４４－９４４－４１４１